

車外画像データを用いた 運転支援システムに関する実証実験

■ 実証実験の概要

当社は、より安心でより便利なモビリティ社会の実現を目指し、運転支援システム（以下、「運転支援システム」）の研究・開発に取り組んでいます。

本実証実験では、当社は下記の実証エリアにおいて試験車に搭載された外向きカメラにより動画形式の車外画像データ（以下、「画像データ」）を収集し、運転支援システムの研究・開発のため活用します。

■ 実証エリア

以下の都道府県における高速道路、自動車専用道路および一般道

大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、三重県、愛知県、静岡県、神奈川県、東京都

■ 画像データの取得方法

上記実証エリアを走行する試験車に搭載した外向きカメラにより、画像データを取得します。

■ 画像データを取得する期間

2026/9～2030/3

■ 画像データの利用目的

運転支援システムの研究・開発に利用するため

■ 画像データの第三者提供

当社は、法令により認められる場合を除き、本実証実験において取得する画像データを第三者提供いたしません。

■ 画像データを保存する期間

取得期間終了後から 10 年程度は画像データを保存することを予定しています。取得した画像データのうち、今後の開発に必要となる一部のデータに限って、上記の保管期間を超えて保管・利用することがありますが、不要になった場合すみやかに削除します。

■ 個人情報保護・プライバシー尊重への取り組み

この実証実験で、当社が取得した画像データには、歩道や道路脇を歩く人や、走行する車両のナンバーなどが映り込む可能性があります。当社はこの画像データを、個人情報として、個人情報保護法その他の関連する法律を順守して取り扱います。また、映り込んだ方のプライバシーを尊重するための取り組みを行っています。

当社は、映り込んだ方の個人情報保護・プライバシーの尊重のために、以下の対応をしています。

- 画像データの取り扱いに関する情報の適切な公表（本お知らせ）
- 画像データに対するアクセス制限やアクセスログの管理
- 画像データに映り込む人や車両のナンバーを個別に検索することの禁止
- 画像データに映り込んだ人や車両について個別に追跡したり、その行動特性や移動傾向などを分析したりすることの禁止

当社の取り組みについて、映り込む可能性のある皆様にご理解いただけるよう、これからも十分な説明や対応に努めてまいります。

（初版：2026 年 9 月 18 日）